

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	支援の必要な子どもたちのための働く機会を醸成する事業
事業主体 (連絡先)	岩村田本町商店街振興組合 0267-54-8339
事業区分	(8)その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業 (3)教育、文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,235,600円 (うち支援金 1,788,000円)

事業内容

支援の必要な子供たちを対象に、小中学生には学びのための支援として「学力補完講座」を実施、高校生には、社会へ出るための自立を促進するプログラムとして、「パソコン講座」、「ビジネスマナー講座」を開設。また、就業支援として商店街や、近隣の小規模企業を中心に協力企業をつのって、インターンシップを目的とした「就業体験講座」を実施した。



【就業体験風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援の必要な小中学生向けの「学力補完講座」ではのべ223名が受講。各の学力に応じた、個別の指導を実施してきたので、子どもたちの満足度もあがり、「学ぶ」ことへの自信につながった。
- ② ビジネスマナー講座ではのべ、122名の受講者が集まった。実務中心の指導は子どもたちにも興味を持って受け入れられた。体験型の講座としたため、積極的に参加できた。
- ③ パソコン講座では、エクセルとワードを初級と中級で講座を開設したが、上級者はビジネスライターまで書けるまでになった。ゲームなどで扱うパソコンとは違い真剣に取り組んでいた。のべ116名の参加

【目標・ねらい】

支援の必要な子どもたちに、様々な支援や、地域の人々の力を借りて「自分にもできる」という自信を持たせること。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

毎年、少しずつではあるが、地域の人々も彼らの活躍の場を認知し、手を差し伸べる環境ができつつある。支援の必要な子どもたちが、潜在的な能力を引き出せるような環境づくりを地域コミュニティが引き続き取り組むことで彼らが自立できる場が醸成される。次年度も協力企業を増やし、彼らの活躍の場をさらに広げる努力を地位コミュニティの担い手として継続したい。

※自己評価【A】

【理由】

支援の必要な子どもたちに、周囲の大人や地域社会が適切な手を差し伸べれば、必ず彼らの活躍の場や、居場所が確立できることが、事業を重ねるごとに実感出来るため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある